

2021年度 一般社団法人 大曲青年会議所

基本方針

まちづくり委員会 担当

副理事長 佐藤 悠

新型コロナウイルスの感染拡大は我々の日常を大きく変え、人口減少をはじめとした様々な課題と向き合っているこの大仙郷にも地域経済への懸念材料として甚大な影響を与えています。新しい生活様式が提案されているこの機会を好機ととらえ、地域のリーダーである我々は率先してこの負の影響から脱却する運動を包括的に展開し、SDGsが目指すところである誰一人取り残さない、レジリエンスを持った地域を創出する必要があります。

まずは、大仙郷の青少年がこの地域で大きな夢をいだき将来を見通せるようにするために、我々にしかできないアプローチによる魅力あふれる地域での仕事に触れる機会を創出し、青少年が輝ける未来の選択肢を増やします。そして、地域の質的価値を向上させるために、あらゆるカウンターパートと手を携え、自立を促し、様々な角度からなる広域的・公益的な運動を展開し、地域を巻き込んだイノベーションを起こす機会を創出します。さらに、地域に根差したすばらしい伝統文化を幅広い世代に周知するために、この地ならではの催しである残月花火を体験する機会を創出し、住み暮らす地域への愛郷心と誇りを育みます。また、目前に控えた大曲JC創立50周年という節目の年を、より強固な組織運営のもと迎えるために、我々一人ひとりが当事者意識をもって大曲JCの魅力やメリットを伝える会員拡大運動を行い、この地に明るい豊かな社会を追い求めるとい志を同じくする仲間を増やします。そして、子供たちの心と身体の健全な成長を育むために、秋田ブロック協議会等が主管するスポーツ事業を推進し、子供たちの豊かな人間性を形成します。

あらゆる世代、地域を巻き込んだ我々の運動は幾重にも共鳴を起こし、次代を担う若い世代は、大仙郷の未来に可能性を見出し、大きな夢を持ち、共にこの地域を誰一人取り残さない持続可能性としなやかなレジリエンスを併せ持った豊かな大仙郷へと変革させます。